

Press Release

ロングリーチグループ 第2号バイアウト・ファンドを設定

【東京 / 香港 2011年3月28日】 独立系投資会社ロングリーチグループ(以下、ロングリーチ)は、日本を主な投資地域とする第2号ファンド(Longreach Capital Partners 2, L.P.)を設定し運用を開始致しました。設定金額は第1号ファンドと同規模の7.5億ドルです。日本の大手企業や米国大手財団及び米国大学基金等の第1号ファンド既存投資家による第1次クロージング(1.25億ドルで完了)に続き、新たな投資家からのコミットメントも順調に増えており、最終的にはグローバルな有力機関投資家を中心とした構成となる予定です。

ロングリーチ会長兼パートナーのマーク・チバは次のように述べています。「このたびの東日本大震災における多くの犠牲者のご遺族の方々に心よりお悔やみを申し上げます。また被災されました方々にお見舞いを申し上げますと共に一日も早い復興を祈念いたしております。今回、こうした大変厳しい状況下にもかかわらずグローバルな有力投資家の支持を得て第1次クロージングが完了できたのは、世界の人々が日本の経済復興に強い期待と確信を持っているからに他なりません。私共は、日本にはいかなる困難にも立ち向かい立ち直る勇気と力があると信じています。今後、産業界が一丸となって復興に取り組まれる中で、ロングリーチとしても微力ながら皆様のお力になれますよう、この第2号ファンドを通じて経済復興に役立つ事業投資に真摯に取り組んで行く所存です」。

第1号ファンドでは、大企業のノンコア事業買収や中堅企業のMBO等、日本における戦略的事業再編と企業価値創出を実現する投資に実績を残してきました。第2号ファンドでもこうした実績と経験を活かしつつ、ロングリーチが得意とする産業テクノロジー分野、金融分野、ビジネスサービス分野等を中心に戦略的な事業再編に注力し、経済成長や産業活性化に貢献する独立系ファンドとして活動してまいります。

###

報道関係者からのお問い合わせ

クレアブ・ギャビン・アンダーソン 03-5404-0640 (服部)

ロングリーチグループについて (URL: <http://www.longreachgroup.com/>)

ロングリーチグループは、日本およびアジアにおける独自の戦略的プライベート・エクイティ投資を目的として2003年10月に設立された事業支援投資会社です。今後の日本産業の発展を担う企業のグローバルな事業展開を中長期且つ戦略的な視点から支援します。グローバルなネットワークに加え業界知識と地域に根ざした人脈および案件遂行能力を活かし、投資先企業の皆様へ高い付加価値を提供してまいります。

ロングリーチグループは、投資主体となるファンド並びに香港拠点のロングリーチグループ・リミテッドおよび東京拠点の株式会社ロングリーチグループにより構成されるグループです。東京拠点の株式会社ロングリーチグループは、日本およびアジア市場に関するデータや情報を収集し、投資ファンドが投資案件の発掘調査を行うためのサポートをしています。

2006年4月に組成された第1号ファンド(約825億円)を通じて、これまでに日本マクドナルド、通信用海底・陸上用ケーブル大手のオーシーシー、モバイルおよびコマース事業を営むサイバード、台湾の安泰銀行、中国のアジア・アルミニウム・グループ、三洋電機ロジスティクスなどの投資案件を手掛けてまいりました。

ロングリーチグループは、投資先企業の皆様との信頼関係を基に多様なソリューションを提供することを通じて、企業価値の創出に積極的に取り組んでまいります。